

関係各位

総合選手権大会実行委員長について

永らく大会会長の私を支えて実行委員長として活躍してくれていました横谷氏が昨年7月に退任されましたので副実行委員長の1人であった肥田氏に次期実行委員長をお願いしましたが、

昨年11月に競技連盟理事会に於いて定款52条に基づき五十嵐事務局長が就任しましたところ、肥田氏から「五十嵐理事が競技連盟の事務局長に就任されるのであれば、競技連盟広報部長を辞任させていただきます。任期途中で勝手に言っただけ申し訳ありませんが、ご了承ください。」とのメールが事務局メーリングリストに届きました。

若人の祭典として、総力を挙げて開催しています総合選手権大会ですが、昨年度は春から顕著になりだした未知の新型コロナウイルスの感染拡大防止の重要性を各団体に警告する意味もあり、4月末の時点で2020年総合選手権大会の中止を決定し、皆にその旨の案内を発信しています。

その後の自粛や非常事態宣言等で感染がおさまっていけるかと期待しましたが、今年に入りイギリス株・インド株と変異ウイルスの登場で医療逼迫危機が起きました。また拳法会内部の混乱も有り大会会長である私と全く意思の疎通が取れない肥田氏が実行委員長では大会運営に大いに支障を来す恐れがあると、2021-5/1に開催されました拳法会理事会に於いて新しく小泉氏に実行委員長をお願いし、主催組織である競技連盟に推薦する事が決議され、5/8拳法会部長会でその旨の報告を行い、5/23競技連盟理事会に於いて2021年総合選手権大会実行委員長を小泉氏に委嘱する事が決議されました。

やっとワクチン接種が始まり、少し希望は持てますが実際に皆さんの体に抗体の力が付くのはもう少し先になると思います。

9月の時点での感染状況や医療態勢は分かりませんが、大会や練習ができない閉塞状況が続く中で、一つの希望を見いだすために小泉実行委員長を中心として大会開催に向けて今から活動をしてくれると思います。

皆で協力して選手の皆さんに希望を与えられるようにしてあげたいと思います。ご協力の程お願い致します。

(一社) 日本拳法競技連盟
会長 茂野直久